

2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年1月27日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL <http://www.jsr.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) エリック ジョンソン
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 桑島 信彦 TEL 03(6218)3517
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	359,076	△4.6	29,624	△21.9	29,508	△23.8	21,762	△25.9	18,946	△31.7	21,579	△6.9
2019年3月期第3四半期	376,548	20.1	37,948	2.1	38,706	0.0	29,367	1.3	27,719	0.2	23,168	△47.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	87.27	87.10
2019年3月期第3四半期	125.13	124.80

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	700,548	439,142	397,516	56.7	1,851.36
2019年3月期	691,435	440,360	401,998	58.1	1,823.69

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	483,000	△2.8	40,000	△7.0	40,000	△9.5	31,000	△7.7	28,000	△10.0	130.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	226,126,145株	2019年3月期	226,126,145株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	11,410,572株	2019年3月期	5,694,949株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	217,093,579株	2019年3月期3Q	221,530,015株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2020年1月27日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(重要な会計方針)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から同年12月31日）の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、東アジア諸国に広がる景気減速に加え、米中の貿易摩擦等を背景に厳しい状況が継続しております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、エラストマー事業では、技術的に優位性を持つ製品のグローバルな拡販に注力いたしました。合成樹脂事業では、テクノUMG株式会社が統合2年目を迎え、事業統合によるシナジー効果実現を目指し、販売・開発・製造の融合を進めてまいりました。デジタルソリューション事業では、半導体材料事業においては最先端技術に対応した製品の拡販を、ディスプレイ材料事業では高成長が期待される中国市場での拡販を進めました。ライフサイエンス事業では、当社の強みである高機能製品の拡販に加えて、積極的な事業買収により得たバイオ医薬品の創薬・製造プロセス開発・委託製造を一貫して請け負う体制の統合強化に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は3,590億76百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益296億24百万円（同21.9%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益189億46百万円（同31.7%減）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
エラストマー事業	151,808	40.3%	136,468	38.0%	△15,340	△10.1%
合成樹脂事業	79,595	21.1%	72,644	20.2%	△6,952	△8.7%
デジタルソリューション事業	109,105	29.0%	108,918	30.3%	△187	△0.2%
ライフサイエンス事業	32,336	8.6%	38,720	10.8%	6,385	19.7%
その他事業	3,704	1.0%	2,326	0.7%	△1,378	△37.2%
調整額	1	0.0%	0	0.0%	△1	△92.2%
合計	376,548	100.0%	359,076	100.0%	△17,472	△4.6%
国内売上収益	167,203	44.4%	152,223	42.4%	△14,980	△9.0%
海外売上収益	209,345	55.6%	206,853	57.6%	△2,492	△1.2%
区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上収益比	金額	売上収益比	金額	比率
営業利益	37,948	10.1%	29,624	8.2%	△8,325	△21.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	27,719	7.4%	18,946	5.3%	△8,773	△31.7%

① エラストマー事業部門

エラストマー事業につきましては、SSBRが順調に販売数量を伸ばしましたが、事業全体の販売数量は前年同期を下回り、売上収益も前年同期を下回りました。営業利益は、主に原料価格下落に伴う販売価格の下落による売買スプレッドの縮小により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上収益は前年同期比10.1%減の1,364億68百万円、営業利益は前年同期比87.1%減の営業利益9億61百万円となりました。

② 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、販売数量は海外向けを中心に前年同期を下回り、売上収益も前年同期を下回りました。営業利益は、原料価格下落に伴う仕入価格の下落による売買スプレッドの改善はあったものの、販売数量の落ち込みによる影響が大きく、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比8.7%減の726億44百万円、営業利益は前年同期比20.6%減の53億56百万円となりました。

③ デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、顧客市場が厳しい状況下において半導体材料やエッジコンピューティング材料の売上収益が増加しましたが、ディスプレイ材料の売上収益の減少により、売上収益は前年同期を若干下回りました。営業利益は売上収益の減少により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比0.2%減の1,089億18百万円、営業利益は前年同期比9.9%減の245億86百万円となりました。

④ ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、バイオ医薬品の創薬・製造プロセス開発・委託製造や診断薬での販売拡大により、売上収益は前年同期を大きく上回りました。営業利益は売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比19.7%増の387億20百万円、営業利益は前年同期比194.8%増の39億48百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月28日の「2020年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2019年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	70,785	67,198
営業債権及びその他の債権	135,280	128,766
棚卸資産	117,046	119,851
その他の金融資産	5,002	3,147
その他の流動資産	10,870	9,187
流動資産合計	338,983	328,149
非流動資産		
有形固定資産	183,457	211,867
のれん	59,066	58,463
その他の無形資産	14,205	15,206
持分法で会計処理されている投資	24,269	22,481
退職給付に係る資産	1,503	1,602
その他の金融資産	58,895	52,737
その他の非流動資産	2,305	2,606
繰延税金資産	8,751	7,436
非流動資産合計	352,452	372,400
資産合計	691,435	700,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2019年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	118,053	116,298
借入金	33,519	29,979
未払法人所得税	5,598	5,713
その他の金融負債	532	2,298
その他の流動負債	14,752	13,280
流動負債合計	172,455	167,568
非流動負債		
借入金	50,777	55,576
退職給付に係る負債	15,870	16,246
その他の金融負債	1,675	14,786
その他の非流動負債	2,733	3,443
繰延税金負債	7,565	3,787
非流動負債合計	78,620	93,838
負債合計	251,075	261,406
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	18,436	18,250
利益剰余金	351,476	364,618
自己株式	△10,042	△19,566
その他の資本の構成要素	18,758	10,843
親会社の所有者に帰属する持分合計	401,998	397,516
非支配持分	38,361	41,626
資本合計	440,360	439,142
負債及び資本合計	691,435	700,548

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上収益	376,548	359,076
売上原価	△262,005	△250,909
売上総利益	114,543	108,167
販売費及び一般管理費	△76,604	△77,583
その他の営業収益	1,273	934
その他の営業費用	△1,630	△2,092
持分法による投資損益	366	197
営業利益	37,948	29,624
金融収益	1,695	1,173
金融費用	△937	△1,288
税引前四半期利益	38,706	29,508
法人所得税	△9,340	△7,746
四半期利益	29,367	21,762
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	27,719	18,946
非支配持分	1,648	2,817
合計	29,367	21,762
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	125.13	87.27
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	124.80	87.10

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期利益	29,367	21,762
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	△6,101	2,277
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△1	2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△19	△76
在外営業活動体の換算差額	608	△738
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△685	△1,649
税引後その他の包括利益合計	△6,198	△184
四半期包括利益合計	23,168	21,579
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	21,777	18,283
非支配持分	1,391	3,296
合計	23,168	21,579

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2018年4月1日残高	23,370	18,502	331,913	△5,358	25,071	393,499	18,116	411,615
四半期利益			27,719			27,719	1,648	29,367
その他の包括利益					△5,942	△5,942	△257	△6,198
四半期包括利益合計	-	-	27,719	-	△5,942	21,777	1,391	23,168
株式報酬取引		△142		88	△33	△87		△87
配当金			△12,175			△12,175	△623	△12,798
自己株式の変動		1		△4,843		△4,841		△4,841
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			582		△582	-		-
企業結合による変動		65	46		△239	△128	17,824	17,697
その他の増減額			△36		1	△35	718	683
所有者との取引額等合計	-	△75	△11,583	△4,755	△853	△17,265	17,919	654
2018年12月31日残高	23,370	18,427	348,050	△10,112	18,277	398,011	37,427	435,437

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2019年4月1日残高	23,370	18,436	351,476	△10,042	18,758	401,998	38,361	440,360
会計方針の変更			133			133		133
修正再表示後の残高	23,370	18,436	351,609	△10,042	18,758	402,131	38,361	440,493
四半期利益			18,946			18,946	2,817	21,762
その他の包括利益					△663	△663	479	△184
四半期包括利益合計	-	-	18,946	-	△663	18,283	3,296	21,579
株式報酬取引		△156		292	△134	2		2
配当金			△13,054			△13,054	△1,453	△14,507
自己株式の変動		△30		△9,816		△9,846		△9,846
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			7,118		△7,118	-		-
企業結合による変動						-		-
子会社の増資に伴う持分の変動						-	1,422	1,422
その他の増減額						-		-
所有者との取引額等合計	-	△186	△5,936	△9,524	△7,252	△22,898	△31	△22,930
2019年12月31日残高	23,370	18,250	364,618	△19,566	10,843	397,516	41,626	439,142

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号 リース	リース契約に関する会計処理を改訂

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、比較情報の修正再表示は行わず、本基準の適用による累積的影響を適用開始日の利益剰余金期首残高として認識する方法(修正遡及アプローチ)を採用しております。

当社グループは、契約の締結時に、特定された資産の使用を支配する権利が一定期間にわたって対価と交換に移転する場合には、当該契約はリースであるか又はリースを含んでいると判定しております。但し、当社グループはリース期間が12ヶ月以内の短期リース及び少額資産のリースについて、使用权資産及びリース負債を認識しないことを選択しております。

契約がリースであるか又はリースを含んでいると判定した場合、リースの開始日に使用权資産とリース負債を認識しております。リース取引におけるリース負債は、リース開始日におけるリース料総額の未決済分の割引現在価値として測定を行っております。使用权資産については、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整し、リース契約に基づき要求される原状回復義務等のコストを加えた額で当初の測定を行っております。使用权資産は、リース期間にわたり規則的に、減価償却を行っております。リース料は、リース負債残高に対して一定の利子率となるように、金融費用とリース負債残高の返済部分とに配分しております。金融費用は要約四半期連結損益計算書上、使用权資産に係る減価償却費と区分して表示しております。

契約がリースであるか否か、又は契約にリースが含まれているか否かについては、法的にはリースの形態をとらないものであっても、契約の実質に基づき判断しております。なお、リース期間が12ヶ月以内に終了するリース及び原資産が少額であるリースについて、当該リースに関連したリース料を、リース期間にわたり定額法により費用として認識しております。

IFRS第16号への移行により、適用開始日現在の要約四半期連結財政状態計算書において、使用权資産13,810百万円を「有形固定資産」に、リース負債13,678百万円を流動負債及び非流動負債の「その他の金融負債」に追加的に認識しております。IFRS第16号適用開始日に認識したリース負債に適用している借手の追加借入利子率の加重平均は3.0%です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業を中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは、自動車タイヤ用途の汎用合成ゴム、自動車部品用途の機能性特殊合成ゴム、樹脂改質用途の熱可塑性エラストマー、塗工紙用途の合成ゴムラテックス等を製造販売しております「エラストマー事業」、自動車及びOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、及び「ライフサイエンス事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
エラストマー事業	スチレン・ブタジエンゴム、ブタジエンゴム、エチレン・プロピレンゴム等の合成ゴム及び精練加工品、熱可塑性エラストマー及び加工品、紙加工用ラテックス、一般産業用ラテックス、アクリルエマルジョン、原料ラテックスの精製加工品、高機能コーティング材料、高機能分散剤、工業用粒子、潜熱蓄熱材料、遮熱塗料用材料、電池用材料、ブタジエンモノマー等の化成品、等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂等の合成樹脂
デジタルソリューション事業	<半導体材料事業> リソグラフィ材料（フォトレジスト、多層材料）、CMP材料、実装材料、等 <ディスプレイ材料事業> カラー液晶ディスプレイ材料、有機ELディスプレイ材料、等 <エッジコンピューティング事業> 耐熱透明樹脂及び機能性フィルム、高機能紫外線硬化樹脂、光造形、等
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬及び同材料、バイオプロセス材料、バイオプロセス開発・製造委託、等

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	151,808	79,595	109,105	32,336	3,704	376,547	1	376,548
営業利益又は営業損 失(△)	7,436	6,741	27,283	1,339	△1,274	41,525	△3,577	37,948
金融収益								1,695
金融費用								△937
税引前四半期利益								38,706

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益又は営業損失の調整額△3,577百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	136,468	72,644	108,918	38,720	2,326	359,076	0	359,076
営業利益又は営業損 失(△)	961	5,356	24,586	3,948	△1,065	33,785	△4,161	29,624
金融収益								1,173
金融費用								△1,288
税引前四半期利益								29,508

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益又は営業損失の調整額△4,161百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年1月27日開催の取締役会において、事業ポートフォリオマネジメントの取り組みの一環として、当社連結子会社であるJMエナジー株式会社（以下、「JMエナジー」）の株式の80%を武蔵精密工業株式会社（以下、「武蔵精密工業」）へ譲渡することを決議し、武蔵精密工業と合意に至りました。株式譲渡後、当社はJMエナジーの株式の20%を保有し、JMエナジーは当社の持分法適用関連会社となる予定です。本件譲渡に伴い、リチウムイオンキャパシタ事業は2020年3月期第4四半期から非継続事業に分類され、JMエナジーは2021年3月期第1四半期には支配喪失により連結子会社から外れる見込みです。2020年3月期の当社連結業績に与える影響額は軽微なものを見込んでおります。

株式を譲渡する子会社の概要

名称	JMエナジー株式会社
事業の内容	リチウムイオンキャパシタの開発・製造・販売
資本金	300百万円
大株主及び持株比率	当社 100%